

滋賀県危機管理センター基本計画について

基本計画の趣旨

地震等の自然災害をはじめテロや新型インフルエンザ等様々な危機事案に対し、迅速、的確に対応するとともに自助・共助による地域防災力の向上を図るため、危機管理機能の拠点となる滋賀県危機管理センターの整備に関する基本計画を策定

基本計画の検討経過

危機管理センター基本計画検討委員会開催

- | | | |
|-------------|-----------------|-------------------|
| 第 1 回検討委員会： | 5 月 1 7 日 (火) | ・ 基本的な考え方 |
| 第 2 回検討委員会： | 6 月 2 1 日 (火) | ・ 基本計画検討素案について |
| 第 3 回検討委員会： | 8 月 1 日 (火) | ・ 基本計画素案の検討 |
| 第 4 回検討委員会： | 1 0 月 1 1 日 (火) | ・ 基本計画案の検討 |
| 検討結果報告 | 1 2 月 2 8 日 (水) | ・ 林委員長から知事へ検討結果報告 |

危機管理センター基本計画概要

- 立地場所：県庁本館に隣接する県警察本部跡地に整備
(※一部の国有地については県取得の手続き中)
- 建物の概要：5 階建、建築面積約1,100㎡、延べ床面積約5,500㎡
耐震安全性能を保有(免震構造)
- 災害対策本部機能：オペレーションルーム、災害対策室(13室)、本部員会議室、プレスセンター、
本部長室、無線統制室、執務室等の諸室とライフライン断絶に備えるために自家
発電機や防災井戸、貯水槽、汚泥貯水槽、備蓄倉庫等を整備
- 防災情報機能：クラウドコンピューティングを活用した防災情報システムの構築
災害時情報通信手段(防災行政無線)の確保(更新)
- 研修・交流機能(平常時の活用)：○調査・研究開発機能(研修、交流、展示プログラムを企画立案)
○研修機能(災害対応力、生活防災力を高める研修)
○交流機能(顔の見える関係づくりができる場の提供)
○展示機能(生活防災をイメージできる展示等)

整備スケジュール(案)

	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
基本設計(地盤調査含む)	→			
実施設計	→			
建築工事		---	---	→
防災行政無線 実施設計	→			
防災行政無線 設置工事		---	---	→
防災情報システム整備		---	---	→

【危機管理センター基本計画概要】

災害対策本部機能

《概要》

- 建物は防災拠点に求められる耐震安全性能を確保する。
- 建物規模は地上5階、延べ床面積約5,500㎡
- 災害対策本部機能の中核的な諸室は低階階（1～3階）に集約して配置する。
- 危機の規模に応じて災害対策本部機能を拡張できるように配慮する。
- オペレーション、方針決定等に支障が出ないよう、関係者以外の者の立ち入りを制限できるフロア構成とする。
- 平常時は、主に1階の諸室を活用して研修・交流事業を行う。

危機管理センターの施設概要

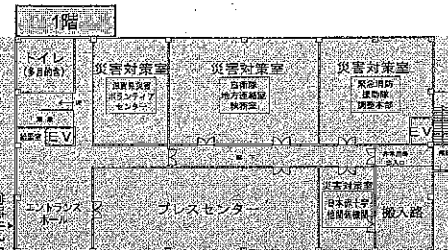
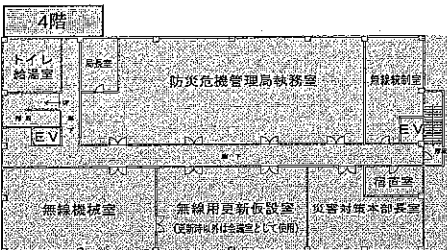
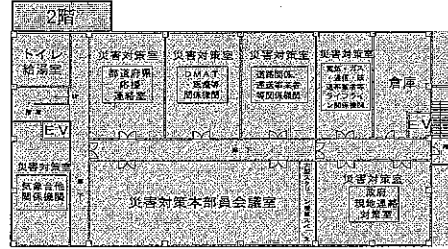
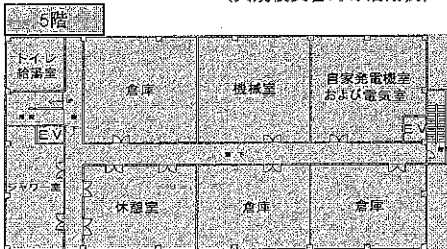
【フロア構成(危機対応時)】

5階	休憩室、シャワー室、倉庫、自家発電機室、機械室
4階	災害対策本部長室、防災危機管理局執務室、無線統制室、宿直室
3階	オペレーションルーム、災害対策室
2階	災害対策本部会議室、災害対策室、倉庫
1階	災害対策室、プレスセンター (エントランスホール)

延べ床面積約5,500㎡

危機管理センター内諸室の配置

(大規模災害時の活用例)



●立地場所

(立地条件・立地場所の選定)

- ・知事や関係職員が迅速に参集できる県庁敷地内またはその周辺に整備することが望ましい。
- ・東日本大震災の教訓を踏まえ、できる限り早期に整備できるよう更地を選定する必要がある。

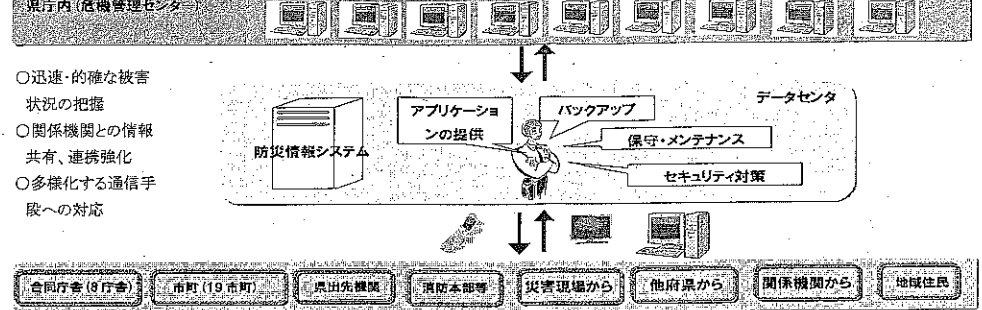
(立地場所)

前記条件等から県庁本館に隣接する県警察本部跡地に整備する。

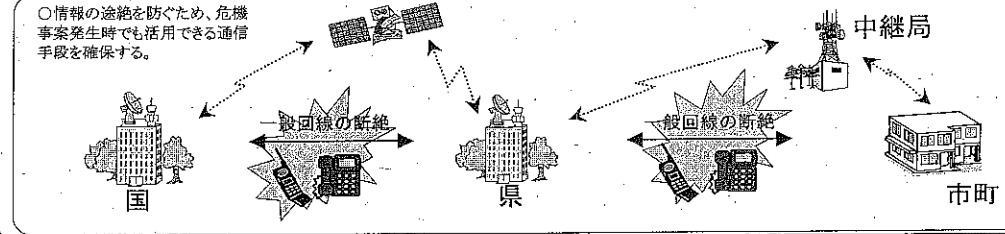


防災情報機能

【クラウドコンピューティングを活用した防災情報システムの構築(構想イメージ)】



【災害時情報通信手段の確保】



研修・交流機能

◆調査・研究開発機能

・全国の取組事例の調査・研究

平常時の活用(1階): (危機事案対応時は災害対策本部諸室として使用)

・生きる力を伸ばす研修、リスク・コミュニケーション研修等のプログラムの研究開発等

◆研修機能

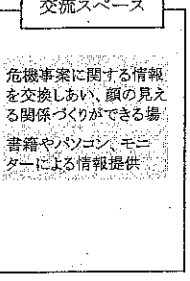
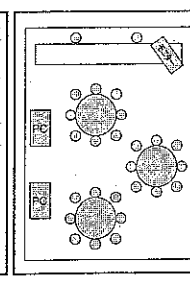
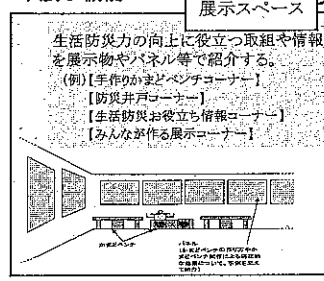
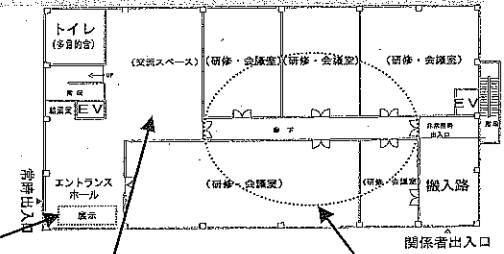
・危機対応力を高める研修
・生活防災という新たな視点による取組を県内に広げる研修

◆交流機能

・危機事案対応に関心のある団体・個人が出会い、対面し、打合せや交流ができる場として、危機事案対応に関する書籍等を設置するなど情報の提供を行い、こうした人びとが活動を共にできるスペースを提供

◆展示機能

生活防災力の向上に役立つ取組や情報を展示物やパネル等で紹介する。
(例)【手作りかまどベンチコーナー】
【防災井戸コーナー】
【生活防災お役立ち情報コーナー】
【みんなが作る展示コーナー】



県、市町、その他機関・団体等危機対応力を高める研修や県民が自分たちの生活の中で危機対応力を高める研修を行う。
(例)地域の防災意識を高め、絆を強める「手作りかまどベンチ」を活用した研修
研修を通じて情報交換や顔の見える関係づくり